

◆ひょうご安全の日のつどい

神戸 500 人委員会 1・17 ウオーク支援炊出し 500 人鍋「豚汁」

当イベント実行の為、昨 12 月 2 日から 3 回に渡り実行委員会を開催し議論を進めました。今回の出店に際し次のように結論づける。

- 1、500 人鍋「豚汁」350 食販売。ミサンガ 30 個販売
- 2、展示品は ぱっと見て一目で分かるもの、これから起こる災害への対策を重点にする
(展示用パネルを神戸市危機管理室より無料で借し出しを受ける)

平成 26 年 1 月 17 日（金）朝早くからスタッフの皆様が参加して頂きました。10 時からのスタートであるが、予定通りの販売がスムーズにできるよう、全員が協力し事前準備。

8 時 45 分：朝礼を行い川辺会長・山田実行委員長から挨拶と指示

パネル展示・ミサンガ販売・炊出し豚汁の煮込みなどの持ち場へスタッフ協力しそれぞれ万全の体制であった。

10 時：一斉に販売スタートプラカードや大きな声で集客呼び込み。賄いのおにぎりも皆さん大好評。

12 時：ミサンガ販売も 30 個完売。炊き込み「豚汁」も 380 食完売し 終了する。

13 時 30 分：全員でテントブース内整理し終礼し解散する。

県民局 3 名、13 期生 8 名を含み合計 34 名の皆様に参加いただきました。

また、メモリアル・ウオーク参加者は 4 名。王子公園をスタートし全員が無事ゴール。

皆様方のご協力のお陰で無事に事故もなく完売終了しました。本当に有難うございました。



◆新春のつどい開催

「ひょうご安全の日のつどい」終了後引き続き神戸三宮「木曾路」にて、参加者は19名で午後2時半から恒例の「新春のつどい」を開催する。

まず最初に川辺会長から新年の挨拶があり、中山さん司会の名調子により参加者それぞれの自己紹介やプレゼント交換会など、和気藹々に有意義で楽しい時間を過ごせました。

また、当日1・17はいろんな事業に参画されておられる方が多く、別の日に設定することも検討が必要ではないでしょうか？

何かと不手際もあったと思いますが、皆様方に助けられ無事達成できたことに感謝いたします。

企画担当 上山治夫

◆北区藍那（国営明石海峡公園神戸地区予定地）にて

「1.17竹灯明台づくり」開催

新年早々の1月12日(日)に、神戸市北区のあいな里山公園(平成28年開園予定)で神戸市主催の1.17阪神淡路大震災追悼行事の為に使用される竹灯明台づくりのイベントが開催されました。

神戸青少年育成協働事業実行委員会主催でその構成団体として青少年本部神戸事務部、若葉会と共に神戸500人委員会も参加しました

小学生、鈴蘭台中学生等も含め100人強の方々が参加をし、山で竹の切り出しを行い、その竹を使って灯明台づくりをすべく、和気あいあいと楽しく作業をしました。出来あがった灯明台に各自「願い事」、「夢」、「東北被災地へのメッセージ」等を書き込み仕上げました。気持ちがかもった手づくり灯明台になりました。

寒い中豚汁やぜんざいもふるまわれ、一同感激に涙をしながら(?)頂きました。

神戸500人委員会も北区メンバーを中心に13期生と共に、スタッフとして参加をしましたが、こんな楽しいイベントなら毎回参加をしてもいいねえと言う声があちこちから聞こえてきました。最後に中心的役割を果たされた8期終了生で構成されている「若葉会」の皆様の素晴らしい企画、運営を勉強させて頂けた事に感謝しています。

記:川辺

◆—東北被災地の子ども支援—

ひまわりサンタプレゼント提供のお礼

東北被災地支援のひまわりサンタⅢは、500人委員会の皆様を始めとする沢山の方々のご協力で、気仙沼南三陸・石巻の31か所の学校園施設等、約1,600名の子供たちにXmasプレゼントを配布する事が出来ました。

関係者の皆様に御礼申し上げますとともに、皆様のご多幸をお祈り致します。

平成26年春 500人Ⅲ期OB・ひまわりおじさん 荒井勲



写真・南三陸町志津川保育園にて平成25年12月20日

◆会員活動紹介

●山田秀作さん（12期）『私の取り柄はなにかしら？』

取り柄を辞書(三省堂)でひもとくと、凡庸だと思われる人の性質や能力の中で幾分まだと思われる所。からだは丈夫なだけです…。

定年(停年)後、KSC(神戸シルバーカレッジ)に入学し、校訓にあるとおり卒業後は地域社会に還元する事を心掛けています。早速社会福祉協会のボランティア入門講座受講終了後、ボランティア参加で

- 1.特養老人施設で利用者さんの誕生会でのケーキづくり(仲間と120人分)
- 2.心の病いを抱えている通所達とクッキーづくり応援
- 3.介護施設(ディサービス)利用者さんとの対話等を行いました。

現在は、

- 1.ノエビアスタジアム神戸でサッカー(J1、なでしこ)ラグビー(トップリーグ)試合時のボランティア
- 2.ノエビアスタジアム神戸の見学日には、アテンドのボランティアとして活動しています。介護は突然やって来るとは本当ですね。先日パートナーが介護を受ける状態になり、介護サービスというのは当人だけに存在するものではないことを学びながら、介護での自助、共助にどう取り組めば良いのか自問自答しながら、今日も笑顔で過ごすのが、2人にとっての宿題と考える日々です。

●渡辺貴子さん（10期）『今、自分に出来ること』

500人委員会に入り自分に何か一つでも出来る事がみつければと思い、10期に席を置き2年間、環境について自分なりに学びました。その後ビジョン委員会でも地球いたわりグループに入り学びました。そして今、生ゴミの減量をするために段ボールコンテストで堆肥づくりをしています。堆肥は主人が貸し農園で野菜作りに使っています。古くなったバスタオルで布草履作りにも挑戦しています。資源ごみ分別(プラスチック・かん・ビン・雑誌・等)すればリサイクルできます。地域では、ふれあい喫茶、しあわせの村での喫茶、ヘアードライなどボランティアをしています。「今自分に出来ること」を自分自身の健康のためにも続けられたら、しあわせと思います。

●杉尾須美子さん（1期）からの寄稿

『私の活動』

「ひょうご防災特別推進員」

これからを担う若者たちにとって大切な、安全・安心な社会を若者たちと共に整えていく活動の一つとして、「ひょうご防災特別推進員」の立場で、地域災害と自然災害への知識の伝播をはかる活動をしています。一番大切な「た・い・け・ん」体験をしていただいて、頭ではなく、体で心で身に着けていただくように活動をしています。(もし必要であれば出向かせていただきます。)

「須磨浦・舞子塾」

昨秋、「だより」で公募の=こんな事が出来たらいいな！=に、6期の会員西田絢子さんと一緒に地域を耕す活動として「須磨浦・舞子塾」を提案し、運営委員会で活動補助金の支給を承諾された新しい活動です。

地域の歴史や産業、生活に関わる文化について、サロン風な集まりを催すことにより、500人委員会を中心に、地域の新しい繋がりが広がることを願っての活動です。

舞子公園隣接の旧木下家住宅(国の有形文化財)に於いて1回目を開催します。そのロケーションと室内の佇まいをイメージして、「源氏物語12帖須磨・13帖明石を紐解く」と題して、お話と抹茶とお菓子でゆるやかにフリートークのひとときを過ごしたいと思います。是非、みなさまのご参加をお待ちしております (詳しくは別紙を参照願います)

◆川辺和由会長より報告、お願い

25年度も3月を残すばかりとなりました。この1年間、会員の皆様と共に活動してきました。運営委員のを始めとした皆様のご協力のお陰で概ね活動予定をクリアする事が出来ています。26年度へ向けて準備、検討をしていますが、前号でご紹介しました3件に沿ってその一端をご報告いたします。

① 会員増大策の検討

・広報委員会で26年度広報活動へ向けて検討しています

情報伝達機能の強化(メール、FAX、電話、訪問等の機能的有効活用)

だよりの発行を年4回から年6回に増やし会員相互の結びつきを強化する

発信情報の内容を精査する

・会員の皆様相互に楽しく、活発に、有意義に、役に立つ活動をする事によって仲間を増やすのが一番かなと思っています

② 青少年健全育成への取り組みマニュアルの策定

・藤波さん提案の「児童プロジェクト」が運用開始されています

・浅井さんをリーダーとした「青少年社会貢献認定プロジェクト」が26年度活動へ向けて始動しています。活動メニューの検討、大学生募集準備等々

③ 東北被災者支援活動と大規模災害支援活動への取り組み

・1.17の県主催のひょうご安全の日のつどい交流ひろば事業に参加をし東北被災者支援の一貫として被災者製作のミサンガを30個完売しました。可能な限り継続して支援を致します

・被災地でのボランティア活動として、8月4日～7日の4日間

ひょうごボランティアプラザが計画している仙台の七夕まつり花火大会のスタッフボランティアに参加の方向で検討しています

26年度事業計画につきましては、総会で承認されました事業計画及び総会以降の活動の評価を踏まえて、3月の幹事会、運営委員会で検討し決定をし、会員の皆様には出来るだけ早くお知らせを致します。

会員の皆様からの提言、神戸500人委員会活動への参加をお待ちしています。

会員の皆様に御満足頂けるような活動、運営を心掛けますので、今後共、ご指導ご鞭撻よろしくお願ひ致します。

◇写真・エッセイ・レポート原稿を◇

広報委員会では会員、修了生の皆様から写真やエッセイ、イベント情報、参加者募集等の呼びかけなどの原稿をお待ちしております。送付先は広報委員長の辻村まで。

なお、原稿には住所・氏名・修了期、連絡先等をご記載願ひします。

送信アドレスは ⇒ info@kcf.ac.jp

(件名には必ず“神戸500人委員会だより宛”とご記載願ひします。)

【編集後記】何がどのように影響して、このように寒暖交互に繰り返す気候になっているのかは存じませんが、寒さ厳しき折、皆様におかれましては、十分に体調管理にご留意下さり、健康にお過ごし下さいませ。健康に過ごすためには、冬を楽しむ位の心の余裕が必要なのではないでしょうか。寒い夜には、お鍋に日本酒とシャレしてみ、幸せな気持ちになるのも一興かと。

広報委員長 辻村謙一(第11期)